大阪府立豊中高等学校 能勢分校
NOSE TIMES
2023 秋冬号
令和５年11月発行
グッドライフアワード・ユネスコスクール
環境大臣賞 学校部門 GOOD LIFE AWARD
UNESCO United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

2023文化祭を開催しました！

能勢分校 検索

10月14日（土）、文化祭を開催しました。10月の後期開始とともに着々と準備を進め、当日を迎えました。今にも雨が降りそうな空模様の中でしたが、各学年、教室での模擬店や、体育館でのパフォーマンスと大変盛り上がりました。中庭ではトランペットや軽音部の演奏、他にも作品展示やパネル展示、お茶席、分校産農産物の販売などをおこないました。ささゆり学園やPTA、応援する会からの参加もあり、とても賑やかで活気のある文化祭となりました。

農場

ステージ発表

3年生メリーゴーランド

生徒会

新しいALTの先生とスイス・フランスから留学生が来ています！

今年も海外から留学生2名が能勢分校に来て、生徒と一緒に授業を受けています。スイスのヤンさんは8月から来年2月まで、フランスのヒナテアさんは10月から1ヵ月間、能勢にいます。また、8月から前任のダポ先生に代わり、カナダからアリシャ先生が、新しいALTの先生として来ています。ヤンさんとヒナテアさんが受けている日本語ボランティアの方の授業に、アリシャ先生も時々参加し、一緒に日本語を学んでいます。能勢のどこかで出会ったら声をかけて下さい。

ヤンさん　アリシャ先生　ヒナテアさん

こんにちは!ヤンです。能勢ではたくさんのやさしい人に会い、色々な体験をしています。日本語とクラスの授業を受けています。今いちばん好きなのは書道です。あと、卓球部と天文学部にも部活で行っています。弓道部にも行ってみたいです。能勢に来られて嬉しいし、もっとたくさんのことを経験したいと思っています!

ヤン

こんにちは!ヒナテア・フンです!私は16歳のフランスからの交換留学生です。能勢での滞在をより良くしてくれた皆さんに感謝しています。日本人の生徒や先生がとても親切で、オープンマインドで、進んで助けてくれることに、驚きと喜びを感じました。日本の生活と学校について新しい学びがあります。特にフランスの私の学校には農場がないので、農場にいるのが大好きでした。文化祭も本当に楽しかったです。これは素晴らしい伝統だと思います。
私は11月6日に帰国しますので、遠慮せずに話しに来てください!

ヒナテア

こんにちは!アリシャです!カナダのブリティッシュコロンビア州出身で、バンクーバー近郊に住んでいました。バンクーバーは海に隣接した美しい街で、海の生き物が大好きな私にはぴったりの場所です。私は大学を卒業し、今22歳です。バンクーバー島にあるビクトリア大学で音楽を学びました。トランペットとバスクラリネットを弾くことができます。趣味は音楽、ビデオゲーム、お菓子作り、絵を描くことです。毎日美しい能勢の風景を見ながら、バスで通勤しています。日本にいる間、日本語を上達させ、文化を学び、たくさんの食べ物に挑戦し、ほかの国では体験できないような様々な経験をするのが楽しみです!

アリシャ

能勢町×能勢分校 連携講座(全3回)
『高校生がこれからのまちづくりを考える』

能勢町と能勢分校の連携講座は、2021年、榎原友樹氏の「能勢町での再生可能エネルギーについて高校生と地域住民がともに考える」の講座がはじまりです。昨年は、能勢町が高校生と共に推進するまちづくりの取組が「第10回グッドライフアワード」で評価され、環境大臣賞 学校部門賞を受賞しました。

今年も9月から3回の連携講座を開催しました。

榎原友樹氏

川又孝太郎氏

上田隼也氏

地域の未来をつくる人材が育つまちづくりをめざし、能勢分校生と地域住民が、共に能勢町の将来について一緒に考えました。高校生たちの学びを知っていただく良い機会にもなりました。

- **第1回　9月12日(火)　講師:榎原友樹氏　『エネルギーを変える、まちが変わる』**
- **第2回 10月30日(月)　講師:川又孝太郎氏　『再生可能エネルギーと地域活性化』**
- **第3回 11月 13日(月)　講師:上田隼也氏　『これからのキャリアと地域デザイン』**

3年生が『課題探究GS』中間発表会を行いました

9月15日（金）、能勢・豊能の地域課題をそれぞれが見つけ、１年間かけて探究を進める、3年生の「課題探究GS(グローカルスタディー)」の中間発表会を行いました。今年度は９チームに分かれ、関心がある地域課題について探究を深めています。どのチームも５分間の発表時間と３分間の質疑応答の決められた時間の中で、自分たちの言葉で発表・回答していました。また、昨年度に続き、大阪公立大学 伊井直比呂教授に来ていただき、発表が終わるごとにご講評をいただきました。総評として准校長が、「地域課題に取組むには熱量が必要。熱い思いを持って探究を続けてほしい。」と締めくくりました。

GLOBAL×LOCAL

● 課題探究GS最終発表会のお知らせ ●

日時:令和5年12月21日(木)　時間:9時30分～12時45分

場所:淨るりシアター　小ホール　（受付開始:9時00分）

生徒たちの探究活動の成果をぜひ見に来てください！

公益財団法人 国際交通安全学会 International Association of Traffic and Safety Sciences ✖ 能勢分校

E-bikeプロジェクト

『E-bikeプロジェクト』は「中山間エリアの高校通学における交通課題の解決と教育的効果の測定」をテーマとする（公財）国際交通安全学会の研究プロジェクトです。

E-bikeプロジェクトに参加している生徒は、事故防止のため、交通安全研修を受講することになっています。

6月26日、交通安全講習WSを行いました。

7月10日、ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット交通教育センターの出原大輔さんを講師に迎え、研修を行いました。実技では、E-bikeの特徴を踏まえた乗車方法や運転操作について学習し、座学では、危険予測について学習しました。実技と座学の両面から学習し、交通安全・事故防止についてさらに学習を深めました。

7月19日、能勢分校生がささゆり学園７年生にむけて、交通安全WSを行いました。高校生が学習した自転車に乗るためのルールを自分たちでパワーポイントにまとめ、中学生に伝わるようにクイズを交えるなど工夫をして説明しました。高校生が伝えることで中学生も交通ルールをより身近な自分事として考えることができるよい学習機会となりました。

食農流通コース生徒が販売実習を行いました

食農流通コース生徒(2・3年生)14名が、この夏～秋に様々な場所（大阪府産業教育フェア・能勢けやきの里・大丸百貨店ほか）で、自分たちが育てた生産物などの販売実習に取り組みました。収穫した生産物を出荷、販売する際には、少しでも“見栄え”が良くなるようにと、袋詰めやパック詰めにも工夫が必要です。栽培管理も出荷準備についても生徒は回を重ねるごとに手際や連携が良くなっていきます。対面販売は、生徒自身が生産者としての想いを直接お客様に伝えることができる貴重な経験でした。

分校玄関前

農場で親と子の食農体験学習を行いました

9月16日(日)、JA大阪北部　「親と子の食農体験学習」が能勢分校農場で行われました。この連携イベント今年度で８回目の開催になる、生徒が運営する体験プログラムです。今年もたくさんの応募の中から30名の小・中学生と保護者の皆様にご参加いただきました。

参加者は、地域の直売所である「能勢けやきの里」に立ち寄ったあと、本校の農場で「養蜂」と「ブドウ収穫」を体験します。お昼の休憩中には3年生がドローンで水田やクリ園を撮影する様子も見学していただきました。とても密度の濃い体験プログラムですが、無事終えることができ、生徒たちの疲労の中にも充実感のある笑顔がとても印象的でした。

養蜂体験

ブドウ収穫

「北海道大学スマート農業教育研究センター」を見学してきました

令和４年度に本校ホームページが全国農業高校・農業大学校デジタルコンテストの農林水産大臣賞を受賞しました。その受賞特典の一つとして、9月27日（水）に今年8月末、北海道大学の札幌キャンパスに開所されたばかりの北海道大学スマート農業教育研究センターを見学する機会をいただきました。

北海道大学では長年スマート農業に取り組んでいます。午前中に様々なトラクターや機材、ドローンなどスマート機器、スマート畜産のシステム、50haの広大な農場での北海道特有の果樹栽培、都市型農園や稲作などを見学しました。午後は、北海道大学大学院　後藤貴文先生と米国粗飼料輸出協議会理事John Szczepanski 先生から「アメリカ産粗飼料、和牛肉と付加価値農業」というタイトルで、講義を受けました。

北海道大学にて

朝から広大な農場を歩き、目にするものすべてが新鮮で、驚きばかりでした。また、午後の英語による講義など、生徒にとって本当に貴重な経験、学びの機会をいただくことができました。

ささゆり学園 × 能勢分校

先輩が語る会

能勢分校とささゆりの中高交流は多岐に渡っています。春の分校での体育祭には4年生が参加し、10月の分校文化祭ではストラックアウト＆コイン落としの模擬店を出しました。また、分校生がささゆりで小中学生たちに交通安全についての講習を行ったり、7月18(火)にささゆりで行われた『先輩が語る会』では、進路選択を控えた9年生に向けて、分校生が能勢分校の魅力について話しました。

また、ささゆり学園の3年生が、9月に分校の農場体験に来校しました。7、8年生も11・12月に能勢分校農場にて体験授業を行います。11月17日(金)には、ささゆり学園で大阪府教育庁・能勢町教育委員会が主催する『SDGｓフェスタ』が行われます。能勢町の小中高、各学校の教職員、生徒、能勢町と連携している方々が一堂に会し、活動します。学校の垣根を超えた活気のある交流になることでしょう。

能勢分校卒業生からのメッセージ！

能勢分校 3 期生（2023年春卒業）　滝口 るな さん
箕面学園 福祉保育専門学校　保育科 1年生

私が高校生活の中で大事にしていたことは「やりたいと思ったことは積極的に挑戦する」ということでした。

特に私が選択していた対人支援群の授業では、保育・福祉関係の事柄を実践形式で学びました。その中で実際に施設に行って施設の方々に向けてレクリエーションをすることがあり、施設の職員さんの話や注意事項を頭に置いて、みなさんが楽しめるように工夫をしました。更に、学校行事やクラブ活動を通して地域を良くするため、苦手な英語にも挑戦し、能勢の良いところやその取組みについて『全国環境ユース発表大会』で発表し、入賞しました。成功することも失敗することもありましたが、どれも自分の良い経験になりました。こういった経験から挑戦することの大切さを改めて痛感し、少し迷ってはいましたが、保育関係の道に進もうと決めました。

現在は箕面学園福祉保育専門学校の保育科に進学し、実際に施設に行き、現場の保育・福祉について学んでいます。能勢分校の皆さんには、失敗を恐れずいろんなことに挑戦し、自分の道を切り拓いていってほしいです。

能勢分校 3 期生（2023年春卒業）　東 梨佳 さん
(株) Honeys 入社

私は高校生活の中で、自信を持つことの大切さを知りました。

私はもともと高校卒業後すぐに就職することに自信がなかったので、服飾関係の専門学校に行き、専門的な知識を得てから会社に勤めようと思っていました。そんな中、高校3年生の体育祭の時、応援合戦で太鼓奏者の募集がありました。私はあまり自信がありませんでしたが、みんなのために何かできたらと太鼓奏者に応募しました。はじめは自信がなかった私でしたが、練習を積み重ねていくうちにだんだんと自信がつき、本番は全力で楽しむことができ、最高の思い出を作ることができました。

このような経験をしたことで、就職してもやっていける自信がつきました。

現在は『Honeys』という婦人服を中心としたアパレル会社に勤めて、自信をもって自社の商品を販売しています。高校生の皆さんには今を全力で楽しんで、自分のやりたいことを諦めずに挑戦していってほしいです。応援しています！

募集中！ 留学生サポートファミリー随時募集しています

本校は、毎年海外からの長期・短期留学生の受入れを行っており、ホストファミリーを募集しています。ホストファミリーはちょっと…という方でも、週末一緒に出かけたり、留学生のサポートをしてくれる方を募集しています。少しでも国際交流や留学生のホストファミリー、留学生サポートに興味のある方は、下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

連絡先：豊中高校能勢分校　国際交流担当：田中 or 教頭 川嶋
☎ ０７２－７３７－０６６６　✉toyonaka-noseb-hs@gbox.pref.osaka.lg.jp